

田んぼで魚とり展 ～低湿地の漁と漁具～

4/11 土 ▶ 5/31 日



石山与五栄門氏 撮影

近年、潟や水田など内水面の環境への関心が高まっています。内水面の動植物を恵みとして、様々な形で利用してきた人々の営みを、豊かな生活文化として見直し、再発見する取り組みが行われています。本展では、蒲原平野に広がる水田や用排水路、潟など、いわゆる低湿地で営まれてきた生活文化、中でも農家の漁撈活動に注目します。多様な漁撈具や舟などの民俗資料、当時の様子を伝える写真資料の展示を通して、人々が様々な資源を見出し、利用し、楽しんできた生活の様子を振り返ります。

展示構成



北区郷土博物館 蔵

夏の魚とり

釜(うけ)やガチャなどの漁具を用いて、夏の水田の環境を巧みに利用した漁を紹介します。

蒲原低湿地の釜漁

市域で使われたさまざまな釜を紹介し、魚の生態を知り、日常の食事の確保に活かした技術を紹介します。

秋と春の魚とり

秋から春にかけて、蒲原の低い水田は湛水し、広い水面が現れました。水田、堀、潟での農家の漁を紹介します。

蒲原低湿地の網漁

低湿地の漁撈活動では網が多用されました。状況に応じて、用いられた網の多様な形とその漁法を紹介합니다。

冬の魚とり

雪と氷に閉ざされた水の上で行われた追い漁やスタテ漁を紹介します。

写真でたどる低湿地の暮らし

昭和30年頃までの漁撈活動を中心に、低湿地の暮らしを、写真を通じて振り返ります。



石山与五栄門氏 撮影

企画展関連イベント

展示解説会

【日時】毎週日曜日
午後2時～(1時間程度)
※5/17のみ午後3時半から
【申込み】事前申込み不要
【参加費】無料
(企画展観覧券が必要です)

体験プログラム

「水辺を歩いて発見しよう!」

【講師】新潟市ネイチャーゲームの会
【日時】2015年5月10日(日) 午後1時半～3時半(雨天の場合は屋内)
【会場】新潟県スポーツ公園 ながたの森周辺(集合場所:レストハウス)
【定員】5才以上の親子20組(先着順受付)
【申込み】事前申込み必要。メールに、プログラム名と氏名・住所・電話番号を明記して、下記博物館まで。
5月1日(金)締切。

講演会

「越後平野の淡水魚と人々の暮らし」

魚とりの対象となった淡水魚の種類や生態、分布などについてお話します。
【講師】井上 信夫氏(新潟市潟環境研究所 研究補助員)
【日時】2015年5月17日(日) 午後2時～午後3時半
【会場】新潟市歴史博物館 2階セミナー室
【定員】80人(申込み多数の場合抽選) 【参加費】資料代100円
【申込み】事前申込み必要。メールもしくは往復ハガキに、講演会名と氏名・住所・電話番号を明記して、下記博物館まで。5月7日(木)必着。

会期中の
みなとぴあ
情報

「みなと新潟春フェスタ 2015 ～光の響宴～」開催

4月29日(水・祝)～5月6日(水・休日) みなとぴあを会場に今年もプロジェクションマッピング実施!

インフォメーション

■観覧料

	一般	団体(20人以上)
大人	500円	400円
大学生・高校生	300円	240円
中学生・小学生	200円	160円

※中学生・小学生は、土・日曜日及び祝日の観覧料が無料です。
※企画展観覧券で常設展示もご覧いただけます。

■開館時間:午前9時30分から午後6時まで(観覧券の販売は閉館30分前まで)

■休館日:毎週月曜日(4月27日・5月4日は特別開館)

■お問い合わせ・イベントお申し込み先

新潟市歴史博物館 〒951-8013 新潟市中央区柳島町 2-10
Tel: 025-225-6111 Fax: 025-225-6130
URL: <http://www.nchm.jp> E-Mail: museum@nchm.jp

■交通案内

- 新潟駅より: 新潟観光循環バス(犬夜叉号)で27分
「歴史博物館前」バス停下車すぐ
- 車で: 新潟バイパス紫竹山ICより約15分
(駐車場: 73台収容可能)
- 信濃川ウォーターシャトルが敷地脇より発着

